

# 赤外線サーモグラフィ試験レベル1講習会 開催案内

主催 社団法人 日本非破壊検査協会  
教育委員会

近年、赤外線サーモグラフィ試験は、建築・土木構造物、電力設備、化学プラント、複合材料構造物など、幅広い分野の構造物・部材の維持管理において実用化が推進されています。種々の条件・環境の中で正しい赤外線サーモグラフィ試験を行うためには、機能及び性能を理解した赤外線カメラの選択、外乱を回避するための試験環境の設定、条件に応じた試験方法の選択及び設定などを正しく行わねばなりません。また、試験対象物に存在し得るきずの種類や発生の原因を把握し試験に臨むことは、正確な試験結果を得る上で大切なことです。

一方、建築・土木分野では、建築基準法が改正され外壁の全面検査が必要となったことから、赤外線サーモグラフィ試験技術者の技術力向上、試験技術及び使用装置の標準化整備、試験技術者の資格認証制度確立が緊急課題となっています。

(社)日本非破壊検査協会では、赤外線サーモグラフィ試験技術の入門書として「赤外線サーモグラフィによる設備診断・非破壊評価ハンドブック」を発行し、試験技術者が赤外線サーモグラフィ試験に対する理解を深め、その技術力を向上させることを目指してきました。また、赤外線サーモグラフィ試験の標準化整備を進め、これまでに「NDIS 0604 赤外線サーモグラフィ試験—技術者の資格及び認証」、 「NDIS 3005 赤外線サーモグラフィによる非破壊試験の標準用語」、 「NDIS 3427 赤外線サーモグラフィ試験方法通則」、 「NDIS 3428 赤外線サーモグラフィ法による建築・土木構造物表層部の変状評価のための試験方法」などの規格を制定してきました。

本講習会は、赤外線サーモグラフィ試験を行う際の一助となり、また認定試験の準備として役立てていただくことを目的に、赤外線サーモグラフィ試験で必要となる赤外線工学・装置・試験方法・きずなどに関する基礎知識を中心にまとめた内容を展開します。赤外線サーモグラフィ試験に携わっている皆様のご参加をお願いいたします。

## 記

1. 開催日 平成23年3月13日(日)～15日(火)
2. 会場 (社)日本非破壊検査協会 瑞江センター (〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2-11-9)
3. プログラム (予定) 《第1日目》(講義) 9:00～17:45
  - 09:00～10:00 (1.0h) 概要説明・規格関連
  - 10:00～11:00 (1.0h) 赤外線用語:NDIS 3005
  - 11:00～12:00 (1.0h) 伝熱工学基礎 I
  - 12:45～13:45 (1.0h) 伝熱工学基礎 II
  - 13:45～15:45 (2.0h) 赤外線工学基礎
  - 15:45～17:15 (1.5h) きずの種類 (建築以外)
  - 17:15～17:45 (0.5h) 技術文書《第2日目》(講義) 9:00～17:45
  - 09:00～10:30 (1.5h) 赤外線サーモ装置 I
  - 10:30～12:00 (1.5h) 赤外線サーモ装置 II
  - 12:45～13:45 (1.0h) 熱負荷装置の種類
  - 13:45～14:45 (1.0h) 測定原理
  - 14:45～16:45 (2.0h) 測定の実施
  - 16:45～17:45 (1.0h) きずの種類 (建築)《第3日目》(実習) 9:00～17:45
  - 09:00～12:00 (3.0h) 機器説明 [温度計測, 報告書作成, ソフトウェア画像処理など]
  - 12:45～17:45 (5.0h) 構造物・接合・材料・状態監視
4. 受講料 会員 35,070円 非会員 39,060円
5. 定員 20名

6. 使用書籍

講習会使用書籍：○ 参考書籍：△

	書籍名	略称	会員価格	書籍コード
○	赤外線サーモグラフィ試験 I 2011	赤 I	1,800	371110
△	赤外線サーモグラフィによる設備診断・非破壊評価ハンドブック	赤外線	6,300	670144
△	NDIS 0604:2009 赤外線サーモグラフィ試験—技術者の資格及び認証	NDIS	570	406041
△	NDIS 3005:2009 赤外線サーモグラフィによる非破壊試験の標準用語	NDIS	290	430051
△	NDIS 3427:2009 赤外線サーモグラフィ試験方法通則	NDIS	480	434271
△	NDIS 3428:2009 赤外線サーモグラフィ法による建築・土木構造物表層部の変状評価のための試験方法	NDIS	720	434281

注文は同封の専用書籍注文書（2011.3 赤外線サーモグラフィ試験 I 講習会専用）で申し込み下さい。講習会を受講する方は会員価格で頒布致しますので、書籍注文書は必ず講習会申込書と同封してお送り下さい。（梱包発送費は別途掛かります。）  
\*書籍発送は原則として各講習会開催日の2週間前になります。また、受講券の発送とは別送ですのでご了承下さい。

7. 申込方法

所定の申込書に必要事項を記入し、下記宛に郵送でお申込み下さい。申込み受領後、受講券、請求書を発送いたしますので受講料振込用紙が到着次第、指定期日までに受講料の送金をお願いします。受講の有無に係わらず、受講料は正式受付をもって全額納入の義務を生じます。従って、受講申込書受理後の取り消し及び講習会の欠席による未納は認めておりませんので、予めご承知下さい。開催日の1週間前になっても受講券が届かない場合には、お問い合わせ下さい。また、会員としての申請に当たっては、受講者本人の氏名が記載されている会員証のコピーを添付して下さい。添付なき場合は、会員割引になりませんのでご注意下さい。（FAXでの申し込みはできません）

8. 申込先&問い合わせ先

〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 MB R99 4階  
(社)日本非破壊検査協会 講習会係 TEL 03-5821-5103

本講習会の開催案内・申込書は、当協会ホームページ (<http://www.jsndi.jp/>) からダウンロードできます。

9. 訓練時間について

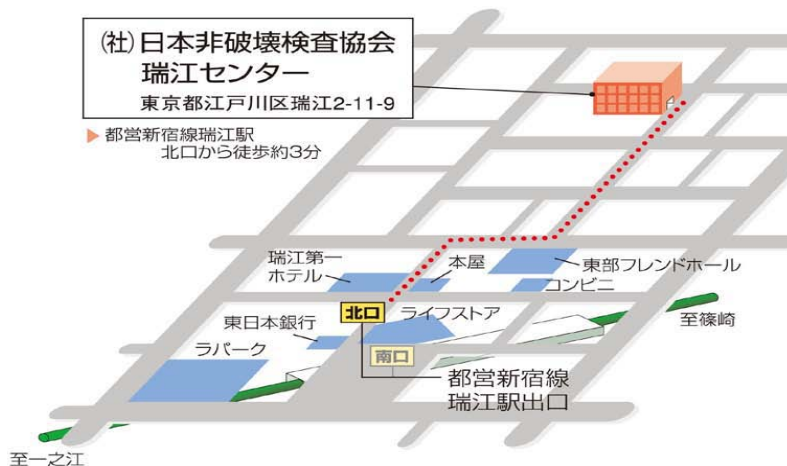
本講習会はNDIS 0604 で受験申請資格として必要とされる訓練時間の一部を満足する設定になっております。この必要とされる訓練時間と今回実施される講習会の訓練時間の対比については、下記の表をご確認下さい。なお、受講終了後に訓練実施記録を発行します。

NDIS 0604 が要求する訓練時間と本講習会訓練コースとの対比

NDT方法 (略称)	レベル	NDIS 0604 要求訓練時間	訓練コース	訓練時間	追加が必要な訓練時間
赤外線サーモグラフィ試験 (TT)	1	40	レベル1	24	16

\*不足の16時間に対応する講習会を2011年7月下旬に計画しております。

会場案内図



## 講習会申込書 記載注意事項

講習会受講申込書は一人一枚でお願いします。複数名の時は申込書をコピーして記入ご使用下さい。申込書は、全て楷書にてハッキリと記入して下さい。なお、記入もれがありますと処理ができないこともありますので注意して下さい。

1. 受講部門 記入不要

2. 受講地区 記入不要

3. 業種コード

01検査 02鉄鋼 03造船 04鉄構ファブリケータ 05電力 06ガス 07石油化学 08プラントエンジニア 09鉄道  
10装置メーカー 11金属 12建築 13学校 14官庁 15中立機関 20その他

4. 個人コード

資格証明書に記載されているコード番号を記入して下さい。

5. 会員有無

非会員・会員のどちらかを○で囲んで下さい。

会員の方は、会員番号を記入して、会員証のコピーを受講申込書に添付して下さい。

・申し込みの際に、会員証のコピーを添付していない場合は、会員であっても非会員扱いとなりますので充分ご注意下さい。

・会員番号は、毎月発行されている当協会機関誌「非破壊検査」が送付されたときの宛名ラベルに記載された9桁の番号です。

「非破壊検査技術者技量認定証明書」または「非破壊試験技術者資格証明書」に記載された個人登録番号とは異なりますので、ご注意下さい。

**・会員価格対象者は受講者本人が正会員（支部賛助会員は対象外）で登録されている方になっております。（会員証に氏名が記載されている本人。）**

6. 実習希望日 記入不要

7. 受講者氏名

上段にはフリガナをカタカナで、下段には楷書で漢字を記入して下さい。

8. 性別

該当する番号を○で囲んで下さい。

9. 生年月日

西暦にて、生年月日を記入して下さい。一桁の場合でも0を入れて下さい。

10. 勤務先名称・事業所・工場名・所属部課名

上段にはフリガナをカタカナで、下段には楷書で漢字を記入して下さい。カタカナの勤務先名称の場合もフリガナを記入して下さい。

なお、会社形態は必ず次のように記入して下さい。

株式会社→(株) 有限会社→(有) 合名会社→(名) 合資会社→(資)

財団法人→(財) 社団法人→(社) 学校法人→(学)

11. 連絡先指定

該当する番号を○で囲んで下さい。受講券をお送りする連絡先となります。郵便物が確実に届く場所を指定して下さい。

12. 連絡担当者又は本人氏名

申込書に関するこちらの連絡内容を処理していただける方の氏名を記入して下さい。所属部課・Tel・Faxを必ず記入して下さい。

13. 連絡先名称・事業所・工場名・所属部課名

勤務されている所在地を記入して下さい。なお、事業所・工場名、所属部署名も必ず記入して下さい。

14. 連絡先住所

連絡先所在地の住所を記入して下さい。

15. 受講者自宅住所

受講者自宅住所の住所を記入して下さい。電話番号は日中にご連絡が取れる番号を記入して下さい。

**★講習会開催に際しまして、受講希望者が10名以下の場合はやむを得ず中止することもありますので御了承下さい。**

**★電話、FAXでの予約受付はしておりませんので、必ず申込書を郵送でお申込み下さい。到着順に受けさせていただきます。**

個人情報について

講習会申込書に記入されました個人情報は、講習会関係書類等の作成に使用し個人情報を順守し取り扱います。

# NDIS 0604 非破壊試験技術講習会 申込書 (2011年3月)

申込年月日：平成 年 月 日

No.

1. 受講部門	赤外線サーモグラフィ試験 I			2. 受講地区コード	1	3
3. 業種コード		4. 個人コード (お持ちの方のみご記入下さい。)		P		
5. 会員有無	(1) 非会員・(2) 会員 (いずれかを○で囲む)			会員番号		
6. 実習希望日	第1希望 第組	第2希望 第組	第3希望 第組	第4希望 第組		
7. フリガナ 受講者氏名	姓	名	8. 性別	9. 生年月日		
			1 男	西暦	月	日
			2 女			
10. フリガナ 勤務先名称						
事業所・工場名 所属部課名						

以下 11～15 の欄は受講票、訓練実施記録等の発送先の住所ですので必ずご記入下さい。

11. 連絡先指定 (いずれかを○で囲む)	12. 連絡先担当者又は本人	姓	名
1 自宅住所	フリガナ		
2 連絡先担当者又は本人勤務先住所	氏 名		
13. フリガナ 連絡先名称			
事業所・工場名 所属部課名			

14. 勤務先所在地	郵便番号	電話番号	FAX
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 一 番地 一 号気付 (ビル名など)		
	都道 府県		
15. 受講者 自宅住所	郵便番号	電話番号 (携帯電話可)	FAX
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 一 番地 一 号気付 (ビル名など)		
	都道 府県		

注：受講申込書受理後の受講取り消しは、一切できませんので受講申込の際には、充分ご注意下さい。

D 1 0 0 0

/

## 赤外線サーモグラフィ試験Ⅰ講習会専用書籍注文書

\* 書籍注文書は必ず講習会申込書と同封してお送り下さい。

(2011年3月)

申込日	年 月 日	枚数	/
受講部門	赤外線サーモグラフィ試験Ⅰ	受講地区	東京
会員番号		【会員種別】	正会員（個人）・団体・学生・賛助

☆ 発注者 〔請求書 送付先〕	会社名 または 氏名	フリガナ  フリガナ 担当者名 ( )
	住所	フリガナ (〒 - ) (電話番号 - - ) 都道 府県
☆ 納品先 〔書籍 送付先〕	会社名 または 氏名	フリガナ  フリガナ 担当者名 ( )
	住所	フリガナ (〒 - ) (電話番号 - - ) 都道 府県

☆発注者、納品先が会社の場合、担当者名を必ずご記入下さい。

書籍略称	書籍コード	冊数	単価	金額
(1) 赤Ⅰ	3 7 1 1 1 0		1,800	
(2) 赤外線	6 7 0 1 4 4		6,300	
(3) NDIS 0604	4 0 6 0 4 1		570	
(4) NDIS 3005	4 3 0 0 5 1		290	
(5) NDIS 3427	4 3 4 2 7 1		480	
(6) NDIS 3428	4 3 4 2 8 1		720	
(7)				
———	計		———	

以下の欄へは記入しないで下さい

	書籍	ゲージ	NDIS		金額
合計数量				梱包発送費	
整理番号				請求金額	
注文書転送日			書籍発送日		